

2017年2月10日



株式会社アコーディア・ゴルフ

証券コード:2131

2017年3月期 第3四半期決算 補足資料

本資料に関する注意事項

- 本資料は、株式会社アコーディア・ゴルフおよび当企業グループに関する情報提供を目的としたものであり、投資その他の取引の勧誘または斡旋を目的としたものではありません。
- 本資料に記載されております戦略・計画・方針・予想等の将来に関する記述は、本資料の作成時点において当社が入手している情報に基づく一定の前提（仮定）および将来の予測等を基礎として当社が判断したものであり、これらには様々なリスクおよび不確実性が内在しております。そのため、当社の支配権の変動その他の要因により、実際の結果等は本資料に記載された内容から大きく乖離しうることをご承知おきください。また、当社は、本資料の日付以降において、本資料に記載された内容を随時更新する義務を負うものではなく、かかる方針も有していません。
- 本資料に記載された内容については合理的な注意を払うよう努めておりますが、掲載された情報の内容の正確性、適切性、網羅性等について、当社は何ら保証するものではありません。
- 本資料に記載されている当社および当企業グループ以外の企業・団体等に係る情報は、公開情報等を用いて作成ないし記載したものであり、かかる情報の正確性、適切性、網羅性等について当社は独自の検証も行っており、また、これを何ら保証するものではありません。
- 本資料の掲載数値は、一部を除き連結数値であり、また単位未満は切り捨て算出しているため、各欄の合計値と合致しない場合があります。

本資料に関するお問い合わせは、下記までお願い致します。

株式会社アコーディア・ゴルフ

IR部

〒1140-0002 東京都品川区東品川4-12-4

TEL: 03-6688-1500（音声ガイダンス）

mail: ir@accordiagolf.com

IRサイト: www.accordiagolf.co.jp

1. 当社株券に対する公開買付けに関する対応

株式会社MBKP Resort(以下「公開買付者」といいます。)は、2016年11月30日から2017年1月18日まで当社株券に対する公開買付け(以下「本公開買付け」といいます。)を行い、本公開買付けに対して買付予定数の下限(47,003,100株)を充たす、62,876,738株(当社の総株主の議決権の数に対する議決権保有割合:89.18%)の応募があったため、本公開買付けは成立いたしました。

当社といたしましては、本公開買付けが成立したこと等を踏まえ、当社を公開買付者の完全子会社とするための手続を実施することといたしました。具体的には、2017年2月28日の臨時株主総会において株主のみなさまのご承認をいただくことを条件として、当社普通株式35,252,217株を1株に併合する株式併合(以下「本株式併合」といいます。)を実施いたします。

本株式併合により、公開買付者以外の株主のみなさまの保有する当社普通株式の数は、1株に満たない端数となる予定です。なお、1株未満の端数については、その合計数に相当する数の株式を売却し、その端数に応じて、その売却により得られた代金を株主のみなさまに交付します。この場合の売却額は、株主のみなさまが有する当社普通株式の数に本公開買付価格と同額である1,210円を乗じた金額に相当する金銭を各株主のみなさまに交付することができるような価格に設定する予定です。

併合の割合	株式併合の効力発生日	効力発生後の発行可能株式数
35,252,217株を1株	2017年3月28日(火)	8株

2. 今後のスケジュール(予定)



本臨時株主総会において株主のみなさまのご承認をいただくことを条件として、本株式併合を実施し、当社を公開買付者の完全子会社とする予定です。その結果、当社普通株式は、東京証券取引所の上場廃止基準に従い、所定の手続を経て上場廃止となる予定です。日程といたしましては、2017年2月28日から2017年3月22日まで整理銘柄に指定された後、2017年3月23日に上場廃止となる見込みです。上場廃止後は、当社普通株式を東京証券取引所市場第一部において取引することはできません。

1. 2017年3月期 第3四半期実績

2017年3月期第3四半期 決算概要

(百万円)

	2016年3月期 3Q	2017年3月期3Q	
		(実績)	(前年同期比)
営業収益	38,565	37,901	- 1.7%
償却前営業利益(EBITDA)	9,607	9,065	- 5.6%
営業利益	6,458	5,727	- 11.3%
経常利益	7,700	5,648	- 26.6%
特別利益	666	1,177	+ 76.7%
特別損失	217	190	- 12.4%
税前三半期純利益	8,149	6,635	- 18.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	5,497	4,832	- 12.1%
EBITDAマージン	24.9%	23.9%	- 1.0pt
運営ゴルフ場(うち契約)	137(93)	135(93)	-
運営ゴルフ練習場(うち契約)	26(5)	26(5)	-
運営ゴルフ場入場者数	668万人	658万人	-10万人

変動要因

運営ゴルフ場の予約状況は好調に推移し、単価維持と稼働のバランスを図りながら集客を推進するが、天候不順などの影響により、運営ゴルフ場の入場者数は658万人と前年同期比10万人の減少。

● 営業収益

保有ゴルフ場は、前期2コース、今期1コースのゴルフ場売却が影響。運営受託収入は、天候要因による減収が影響し、前年同期比で減少。連結全体では前年同期比664百万円減収し、37,901百万円。

● 営業利益

事業費は前年同期比で減少。販管費は当社株式の公開買付けに対して、対応費用の一部が発生し増加。営業収益の減収も影響し、前年同期比731百万円減益し、5,727百万円。営業利益率15.1%

● 経常利益

12月に実施したリファイナンスに対する手数料に加えて、持分法適用会社において留保利益に対する税負担を考慮したため、「持分法による投資利益」が減少。

● 親会社株主に帰属する四半期純利益

ゴルフ練習場1ヶ所の売却に伴う、固定資産売却益を計上する一方、営業収益の減収や販管費の増加などの要因により、前年同期比665百万円減益し、4,832百万円。

(注)当社は、2017年1月23日に2017年3月期業績予想の修正を公表しておりますが、当業績予想の修正は、公表する直前までに把握している2017年3月期第3四半期までの実績も考慮した業績予想の修正を行っているため、2017年3月期第3四半期累計期間の計画数値の記載は省略いたします。

営業収益(内訳)

	(百万円)		
	2016年3月期 3Q	2017年3月期 3Q	(前年同期比)
営業収益	38,565	37,901	- 1.7%
ゴルフ場運営	22,986	22,476	- 2.2%
レストラン	6,973	6,995	+ 0.3%
ゴルフ用品販売	3,596	3,436	- 4.4%
その他	5,008	4,993	- 0.3%
(ゴルフ場運営の内訳)			
コース売上	15,615	15,366	- 1.6%
運営受託収入	4,791	4,673	- 2.5%
会員収益	2,580	2,437	- 5.5%
(会員収益の内訳)			
年会費	1,433	1,391	- 2.9%
名義変更料	159	163	+ 2.5%
入会金	987	883	- 10.5%
(その他の内訳)			
ゴルフ練習場	3,838	3,830	- 0.2%
その他	1,170	1,163	- 0.6%

変動要因

<ゴルフ場運営>

対象：運営ゴルフ場

- 取得ゴルフ場：前期1コース
(増収要因 売上 426百万円)
- 売却ゴルフ場：前期2コース、今期1コース
(減収要因 売上414百万円)
- ゴルフ場入場者数 658万人
(前年同期比1.5%減)
- 客単価9,539円(前年同期比0.6%減)

<ゴルフ用品販売>

- 消耗品や、クラブ工房は好調に推移したが、ゴルフクラブやウェアなど高額品の需要が低調。

<会員収益>

- 一部の新規取得ゴルフ場における会員募集が一巡したため、「入会金」収益が弱含み。名義変更料は好調な進捗。

<ゴルフ練習場>

- 他店と比べ、練習環境や立地条件など施設の優位性から既存施設の収益基盤は安定。スクール事業は好調に伸びる。2016年12月に行った1施設の売却が影響。

営業費用(内訳)

	(百万円)		
	2016年3月期 3Q	2017年3月期 3Q	(前年同期比)
営業費用	32,106	32,173	+ 0.2%
事業費	29,066	28,616	- 1.5%
人件費	9,960	9,995	+ 0.4%
材料費	5,548	5,366	- 3.3%
その他経費	13,556	13,254	- 2.2%
販売費及び一般管理費	3,039	3,557	+ 17.0%
人件費	1,238	1,267	+ 2.3%
その他経費	1,801	2,290	+ 27.2%

アセットライトの効果 (AGT保有90コース)

アセットライト前		当 社 負 担	アセットライト後	
人件費	マネージメント(支配人)		マネージメント(支配人)	出向派遣 AGTIに請求
	スタッフ		スタッフ	AGT 負担
材料費	食材・資材など		食材・資材など	
その他経費	Web手数料など		Web手数料など	

変動要因

<事業費>

●人件費

変則労働制を進めるなか、就業意欲の向上などバランスの取れたコストコントロールを行う。

●材料費

入場者数の減少による影響と、コース管理およびレストラン食材の集中購買をさらに進めたことで、前年同期より減少。

●その他経費

水道光熱費や車両経費(ガソリン)が減少。他社サイトからの予約が増加したことに伴いWeb誘客手数料が増加するが、ポイント経費が減少。

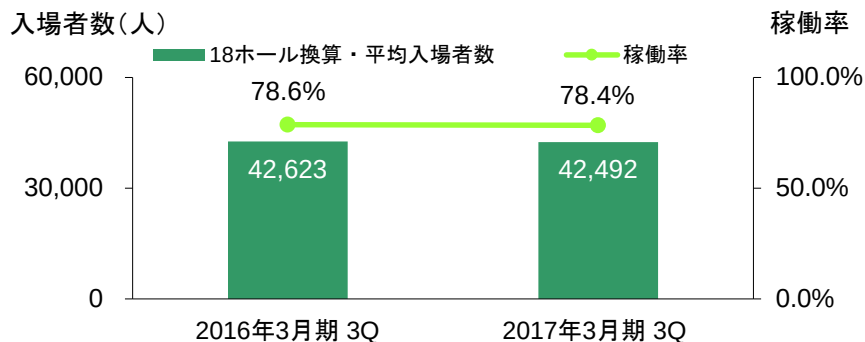
<販売費及び一般管理費>

●その他経費

2016年3月期第2四半期より、事業費とのポイント経費負担割合を変更。ブランド力を強化するため広告宣伝費が増加。当社株式の公開買付けに対して、対応費用の一部が発生しているため増加。

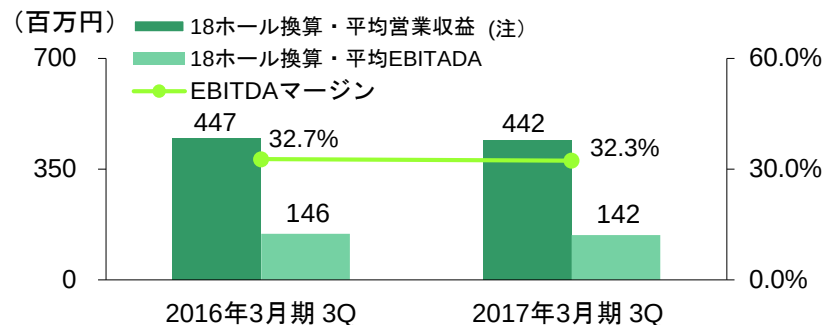
運営ゴルフ場の収益状況(対象:運営133コース)

入場者数／稼働率



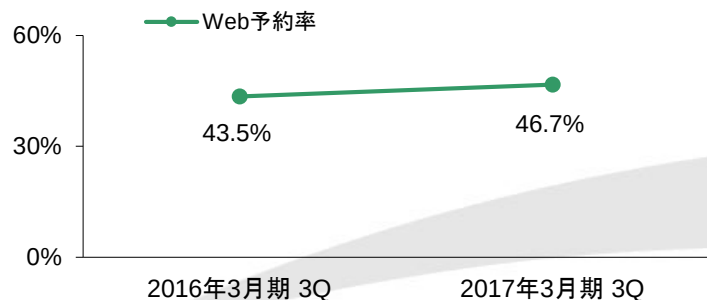
* 稼働率=18ホール当たり入場者／営業日数×200(人)

営業収益／EBITDA

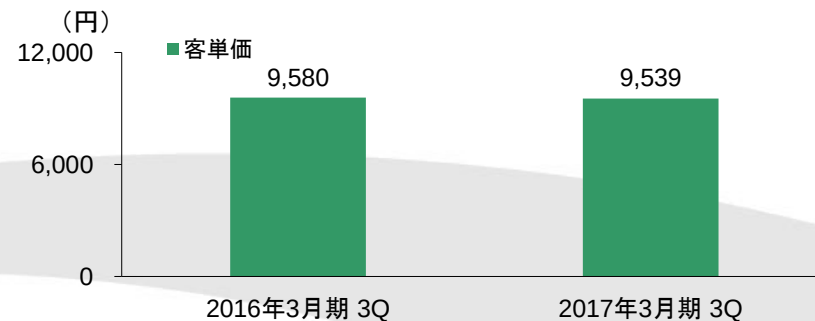


(注)ゴルフ場運営収益+レストラン+ゴルフ用品販売を18ホール換算で算出

Web予約率



客単価

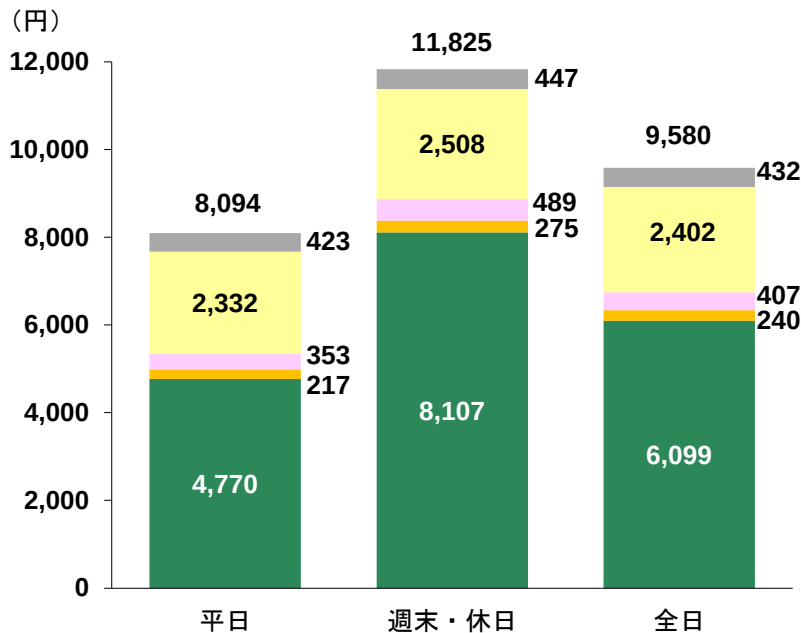


* 客単価=コース売上+レストラン(除くグループ外売上)+ゴルフ用品販売／入場者数

(注) 保有および運営受託契約(含む経営管理委託契約)を締結している133コースを対象(営業休止ゴルフ場を含む)。

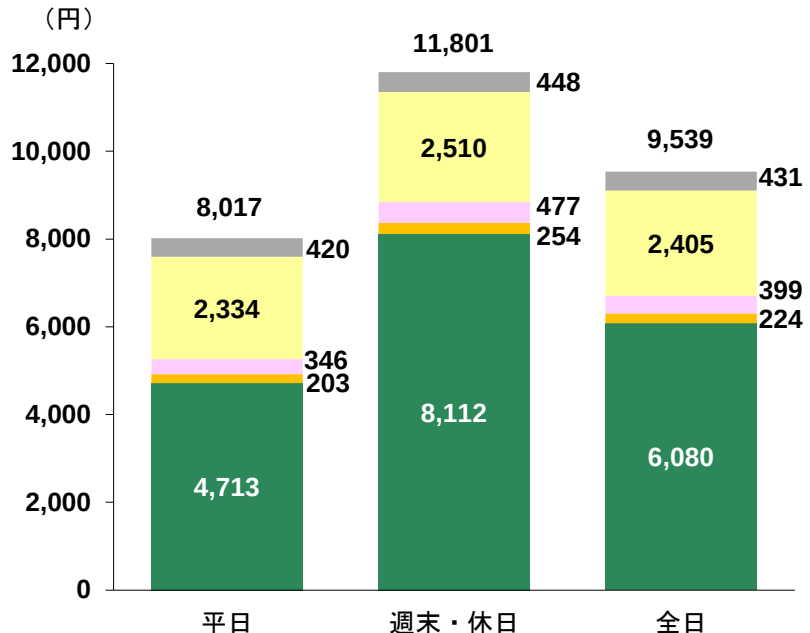
客単価の内訳(対象:運営133コース)

■ プレーフィ ■ キャディフィ ■ プロショップ ■ 飲食 ■ その他



2016年3月期 3Q

■ プレーフィ ■ キャディフィ ■ プロショップ ■ 飲食 ■ その他



2017年3月期 3Q

- 全体方針として、単価設定と稼働のバランスを図る。
- 平日はプレー需要の取り込み余地があるため、早期の予約獲得など稼働を重視しており、全体ではやや下落を想定。週末は高い稼働率を維持、需要に応じた丁寧な単価設定に取り組んだ。
- 第3四半期累計期間は、週末・休日の構成比が対前年同期比、0.3%増加。
- キャディレス率94.1%(前年同期比0.5ポイント上昇)
- プロショップは消耗品の販売に重点、飲食はコンペ需要の増加が寄与。
- 第3四半期累計期間における、運営ゴルフ場133コースの客単価(全日)は想定、9,641円。

(注) 客単価は、お客様の属性やプレイスタイル、スタート時間、繁忙日・閑散日など、状況に応じて多様な料金スタイルから構成されています。
上記数値は、対象ゴルフ場のコース売上・レストラン・ゴルフ用品販売の営業収益合計を入場者数で除して算出しています。

貸借対照表の状況

(百万円)

	2016年3月期	2017年3月期 3Q	増減	増減要因
流動資産	10,893	11,254	+361	
固定資産	141,160	138,136	-3,024	
有形固定資産	98,647	97,358	-1,289	ゴルフ場、ゴルフ練習場の売却
（うちゴルフコース）	43,914	43,855	-59	
（うち土地）	29,955	29,065	-890	
無形固定資産	11,111	10,090	-1,021	
（うち）のれん	8,558	7,697	-861	のれん償却
投資その他の資産	31,400	30,687	-713	AGTのユニット保有 持分法による増減
資産合計	152,054	149,390	-2,664	
流動負債	58,400	21,025	-37,375	
（うち）短期借入金	500	7,000	+6,500	短期融資枠等の活用
（うち）1年内返済予定 長期借入金	39,623	3,699	-35,924	既存ローンの長期借り換え
固定負債	43,608	76,124	+32,516	
（うち）長期借入金	16,779	51,322	+34,543	既存ローンの長期借り換え
（うち）入会保証金	9,990	9,509	-481	
負債合計	102,008	97,149	-4,859	
純資産	50,045	52,240	+2,195	
負債純資産合計	152,054	149,390	-2,664	

負債の状況

(百万円)

	2016年3月期	2017年3月期 3Q	増減	概要
短期借入金	500	7,000	+6,500	運転資金の一部に活用
1年内返済予定 長期借入金	39,623	3,699	-35,924	
CP	4,998	-	-4,998	キャッシュポジションの調整
長期借入金	16,779	51,322	+34,543	計350億円のリファイナンス実行
リース債務	7,991	7,161	-830	
有利子負債計	69,891	69,182	-709	DEレシオ1.32倍(有利子負債／純資産)
ネット有利子負債	57,703	57,879	+176	有利子負債から現預金とリース債務を控除
入会保証金	9,990	9,509	-481	

- 1年内返済予定の長期借入金に計上していた、2016年8月に期限が到来した150億円と、2016年12月に期限が到来した200億円に関するリファイナンスは実行済み。
- 借入金の全額についてのリファイナンスを2017年1月以降に実行することを主な目的として、親会社となる予定の株式会社MBKP Resortと金銭消費貸借契約を締結。
 - ・総額 62,600 百万円
 - ・実行日 2017年1月27日以降随時
 - ・返済期限 2024年1月24日
 - ・返済方法 期限一括返済

なお、当社は株式会社MBKP Resortとの合併を予定しており、合併後は金銭消費貸借契約が消滅する予定。

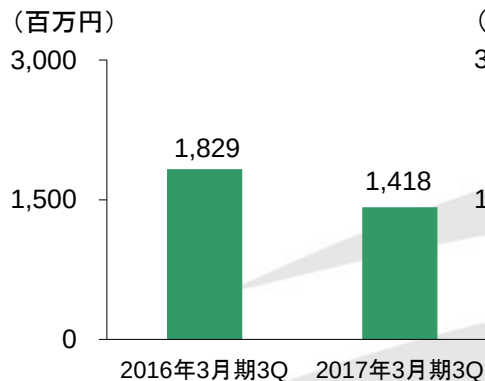
キャッシュ・フローの状況

	(百万円)		
	2016年3月期 3Q	2017年3月期 3Q	(前年同期比)
営業活動	9,799	1,951	- 80.1%
投資活動	747	1,854	+ 148.2%
財務活動	△9,879	△3,862	+ 60.9%
増減額	666	△55	- 108.3%
期首残高	3,485	4,197	+ 20.4%
新規連結	-	-	-
期末残高	4,151	4,142	- 0.2%

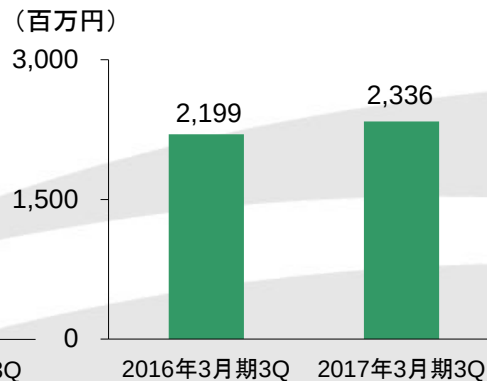
変動要因

- 営業CFは、税前当期純利益の減少や、前年同期は法人税等の還付を受けたのに対して、平年通りの支払額となった事により増加。
- 投資CFは、前年同期に発生した権利譲渡による収入が減少、ゴルフ練習場の売却により有形固定資産の売却による収入が増加。
- 財務CFは、新規借入による短期借入金が増加、および長期借入金の返済による支出が減少。

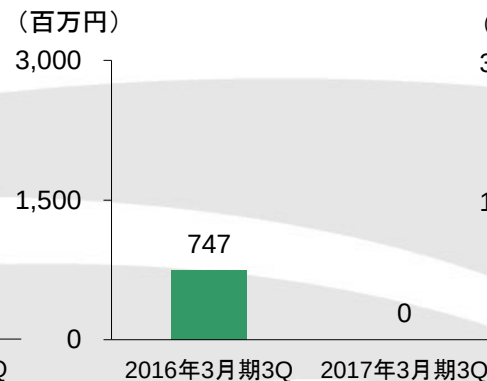
設備投資



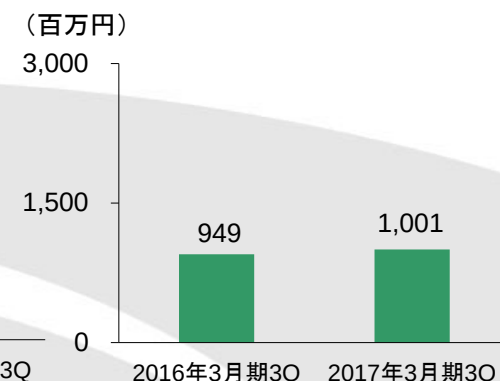
減価償却費



ゴルフ場取得費用



のれん償却費



ゴルフ場の取得、売却

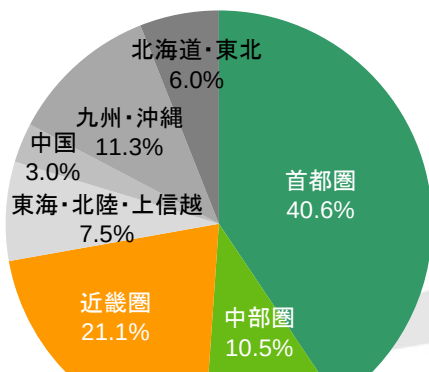
売却

コース名	日程・スキーム	所在地・ホール数	営業収益(前年実績)
千歳カントリークラブ	2016年9月 株式売却	北海道千歳市 18	191百万円

今後の取得方針

- 当社に持ち込まれる案件数は平年水準で推移。持ち込まれる案件を検討したが、将来収益の拡大余地が乏しいなど投資水準に不適合な案件、および地方の案件が散見された。
- 国内案件(年間数コース程度)を主力としながら、海外案件など取得パイプラインを強化するため、情報収集チャンネルを拡大。
- 保有ゴルフ場のアセットライトの推進が重点課題、低収益なゴルフ場の第三者向け売却は一巡。

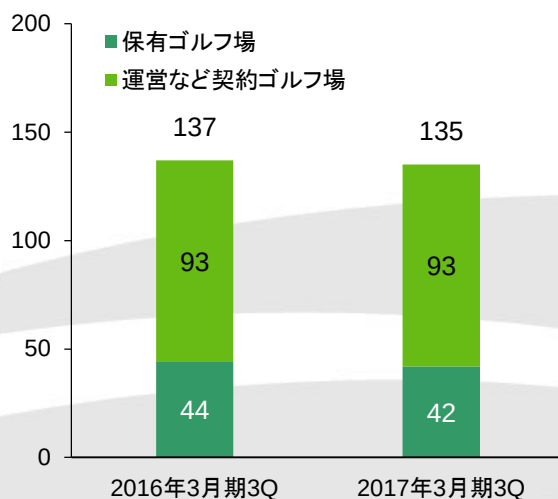
運営ゴルフ場 展開立地



三大都市圏比率 72.2%

(注) 1 2016年12月末現在 対象:運営133コース
2 中部圏は、愛知県・岐阜県・三重県が対象

ゴルフ場数



取得・売却ゴルフ場

2009年3月期以降に取得・第三者に売却したゴルフ場

※アセットライトに伴う売却は除く

● 取得ゴルフ場
● 売却ゴルフ場



ゴルフ練習場 収益状況

	2016年3月期 3Q	2017年3月期 3Q	(前年同期比)
営業収益	4,399	4,432	+ 0.8%
償却前営業利益(EBITDA)	1,583	1,548	- 2.2%
EBITDAマージン	36.0%	34.9%	- 1.1pt
入場者数(万人)	285	287	+ 0.7%
スクール受講者数(万人)	18	20	+ 11.1%
打席回転率	5.2	5.2	-
対象店舗数	26	26	-

- 都市部の既存施設を中心に、打球売上が増加するなど収益性が向上。
- 他オーナー様の物件に対して、運営受託や賃貸借契約の提案営業を積極化。

● 取得・開発案件の特徴

- ・アコーディア ゴルフスタジオ赤坂
2016年8月開業／東京都港区／6打席
- ・アコーディア ゴルフスタジオ御徒町
2016年10月開業／東京都台東区／5打席
- ・都市型インドアスクールの事業展開を模索

● ゴルフ練習場の経営環境

国内の練習場数3,211ヶ所(2016年3月期)
延べ利用者数8,869万人(2016年3月期)

ゴルフ練習場数

